

第 18 回 建設工学科 学生連絡協議会 議事録 (案)

日 時： 2014(H26)年 11 月 21 日 (金) 18:00～19:00

場 所： 建設工学科 2 階会議室

司 会： 山辺 (学生連絡協議会)

記 録： 党 (1 年担任)

出席者：

学生：中原 (M2)，黒木 (M1)，古川 (B4)，

穴田・飯島 (B3)，武者 (B2)，末永・鈴木 (B1)

教員：鈴木 (学科長)，齊藤 (建物)，牧 (カリキュラム，2 年担任)，田中 (安全衛生，1 年担任)，

川本 (M1 担任)，松本 (4 年担任)，八木澤 (4 年担任)，山辺 (3 年担任，学生連絡協議会)，

橘 (3 年担任)，党 (1 年担任)

議 事：

1. 前回第 17 回学生連絡協議会 (2013. 12. 10 実施) 議事録の確認

第 17 回学生連絡協議会の議事録が確認された。

2. 前回要望事項・懸案事項への対応状況について (報告ならびに継続事項)

2-1. 数学系科目の難易度

一部の数学系科目において、難易度が例年に比べて格段に上がっていてついていけない。

前回の対応：非常勤講師による講義であるので、カリキュラム委員から先生ご本人に状況を確認する。

今回追加の回答：理学系の非常勤講師の先生であり、工学系学生の実用レベルの状況を配慮するように要望した。

学生からのフィードバック：昨年度は後半 (相談後) から改善した (B2)；今年も難しい (B1)。

2-2. レポートボックスの破損

昨年度教員から：レポートボックスを壊さないでほしい、見かけたら注意してほしい (自動ドアの利用も同じ)。

今回教員から追加の報告：レポートボックスは今年度も一度壊れたので、引き続き注意。

3. 新規事項

3-1. JABEE 審査の結果

教員：今年度の JABEE 審査において学生達による面談などの協力を得て、6 年間の継続に到達したと思われる。これにより、建設工学科の課程を修了することにより技術士資格の早期獲得などが可能になる。学生たちも自信を持って、カリキュラムに沿って頑張ってもらいたい。

3-2. 建設棟近くに喫煙所が欲しい

学生：教育棟東側の喫煙所が廃止されたため、建設棟の近くには喫煙所がない。また、総研棟下の電灯が最近壊れており、夜は暗い。例えば、建設棟と駐車場の間などに喫煙所を設置して欲しい。→受動喫煙の観点から、大学全体として喫煙所を増やす事は難しいと思われるが、電灯設備などについては建物委員会から施設関連の事務方に申し入れる。

3-3. 構造実験棟と第2実験棟の間の照明

学生：構造実験棟と第2実験棟の間の通路に、照明がない。夜は暗く鍵穴も見えず、段差も見えない状態である。

→建物委員会から学務係を通して、構造実験棟の西側に証明を付けることを提案する。

3-4. 総研棟 11, 12 番教室の椅子の破損

学生：総研棟 11, 12 番教室の椅子が3つ程度、壊れている。

→学務係がチェックしているが、危険なため建物委員会から改めて申し入れる。

3-5. 総研棟 1 階のスペースの休日利用

学生：試験期間中の勉強のため、土日も解放してほしい。図書館は現在改修中で席が少ない。

→図書館以外の教室が平日には解放されているが、休日はセキュリティの問題から自由な利用は難しい。改修後の設定を確認した後、改めて検討する。

3-6. 建設棟 1 号館の階段の電気

学生：東側の階段の照明が、自動的に付かない。

→東側の階段の照明は、節電のために手動でスイッチを押す必要がある。

3-7. 1号棟と2号棟の1階での通り抜け

学生：土質研から恒温室に通うため、一号棟と二号棟の1階の通り抜けを許可して欲しい。

→他の研究室を通り抜けることになるので、特別な場合を除き基本的に難しい。

3-8. 研究室配属方法について

学生：入学当初は GPA 順に研究室配属に優先されると説明されていたが、今回は大学院進学予定者（実効拘束力なし）が優先されたため、成績の優秀な学生（GPA 1 桁台の高順位）でも希望通りの研究グループに配属されない場合があった。

→今年度から研究室から研究グループに編成が変更になったため、3年後期から始まるテーマ研究Ⅱの研究グループ配属について、新たな方法が初めて実施された。大学院進学希望が拘束力のある契約（ペナルティ、または誓約書など）となる方法も検討したが、学科としては今回の結果を十分に検討してから対応を考える予定である。研究グループ配属についても、進学の意味のみならず GPA も併用する方法などを検討し、次年度への申し送りとする。

3-9. 測量学の欠席

学生：テーマ研究Ⅱの時間が変更され、測量学と重複したため講義に出られない場合があった。

→会議後、測量学担当の先生に確認した所、測量学の欠席はテーマ研究Ⅱの講義によって制約された

ものではなく、学生の判断であったとの事で、既に一件落着している。

3-10. 11 番教室の椅子の破損

学生：総合研究棟の11番教室の椅子の破損、根元から破断して、修理して欲しい。

→「3-4.」と共に、建物委員会で対応する予定。

3-11. ごみ捨場でのペットボトルの取扱い

学生：建設1号棟と駐車場の間のゴミ捨場では、ペットボトルの場所がなく、大量にペットボトルを捨てたいときに捨て方がわからない。

→建物委員会で検討する。

3-12. 駐輪場のスペース

学生：駐輪場では、スペースが狭くなっているので、不要なものを整理して欲しい。

→建物委員会で検討する。

3-13. 非常階段の下へのポイ捨て

教員：非常階段で下へのポイ捨てがあり、土質研究室が処理しているので対応方法を検討して欲しい。

→学科長が清掃契約を確認したうえで、業者に対応可能かを検討する。

以上